

医学概論

問題 1 乳幼児期の発達に関する次の組み合わせのうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 定額^{ていけい} — 生後1か月
- 2 座位 — 生後3か月
- 3 つかまり立ち — 生後10か月
- 4 一人で階段の上り下りをする — 1歳
- 5 三輪車をこぐ — 2歳

問題 2 事例を読んで、緩和ケアに関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん(45歳、女性)は、肺がん stage IVで抗がん剤治療を受けていたが、全身状態不良のためB病院に入院となった。胸部痛の訴えがあり、オピオイドを内服しているが、疼痛コントロールは不良である。入院時に主治医より、Aさん及びキーパーソンである夫に対して、予後は3か月ほどであり、今後の方針としては緩和ケアに移行すると告知した。その後、Aさんは不安や抑うつ^{とうつ}気分を呈するようになった。入院して2週間が経過したが、Aさんの不安や抑うつ気分は改善を認めない。Aさんは入院継続を希望しており、夫も自宅での生活に不安を抱えている。

- 1 訪問診療を導入し、自宅退院を促す。
- 2 不安や抑うつ気分に対して薬物療法を行う。
- 3 Aさんの緩和ケアに対する心理的な抵抗感は少ない。
- 4 夫は緩和ケアの対象ではない。
- 5 疼痛コントロールは積極的に行わない。

問題 3 ホルモンに関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 インスリンは血糖値を上げる。
- 2 アドレナリンは心拍数を下げる。
- 3 アルドステロンは血圧を下げる。
- 4 バソプレシンは尿の生成を促す。
- 5 エリスロポエチンは赤血球数を増加させる。

問題 4 事例を読んで、次のうち、Aさんの希望を踏まえた訓練やサポートを行う主な職種として、最も適切なものを1つ選びなさい。

〔事例〕

Aさん(58歳, 男性)は脳梗塞を発症し、右片麻痺と構音障害の症状があるため、回復期リハビリテーション病棟に入院中である。利き手である右手を実用的に使うことは難しく、左手を使って身の回りのことができるよう練習している。退院後は一人で入浴できるようになりたいと希望しており、自宅の浴室に手すりを設置する予定である。

- 1 理学療法士
- 2 作業療法士
- 3 言語聴覚士
- 4 義肢装具士
- 5 看護師

問題 5 疾病の予防に関する次の組み合わせとして、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 がん検診 — 一次予防
- 2 減塩指導 — 二次予防
- 3 早期治療 — 三次予防
- 4 予防接種 — 一次予防
- 5 リハビリテーション — 二次予防

問題 6 事例を読んで、次のうち、本症例で発生した可能性が最も高い不整脈を1つ選びなさい。

〔事 例〕

会社員のAさん(54歳、男性)は、糖尿病で診療所の外来に通院している。趣味のテニスをしている最中に、突然意識を失って倒れた。同僚が119番通報し、呼吸を確認したところ死戦期呼吸(下顎呼吸)を認めたため、直ちに胸骨圧迫と人工呼吸を開始した。施設職員が自動体外式除細動器(AED)を持参して除細動を実施し、Aさんの意識は回復した。その後、救急隊により病院へ搬送された。

- 1 徐脈
- 2 期外収縮
- 3 心室細動
- 4 洞不全症候群
- 5 房室ブロック